

教 育 委 員 会 資 料  
令 和 4 年 7 月 2 8 日  
生 涯 学 習 課

郷土芸能伝承館指定管理者の評価委員会による評価の実施

1 評価実施目的

郷土芸能伝承館の指定管理者及びその管理運営業務全般に関し、指定管理者制度導入目的等に則り適正に管理運営されているか、客観的に評価・検証を行い、その結果を施設の管理運営に反映させるため実施する。

2 指定管理者

埼玉県行田市行田22番10号  
株式会社サンワックス  
代表取締役 野原 治人

3 指定管理期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日まで

4 板橋区立郷土芸能伝承館指定管理者概要 . . . . . 資料1

5 板橋区立郷土芸能伝承館指定管理者業務評価委員会委員名簿 . . . . 資料2

6 板橋区立郷土芸能伝承館指定管理者業務評価委員会評価要領 . . . . 資料3

7 実施時期

(1) 第1回評価委員会

令和4年9月5日(月) 「現地調査及び指定管理者ヒアリング」 現地

(2) 第2回評価委員会

令和4年9月30日(金) 「総合評価」 601会議室

## 板橋区立郷土芸能伝承館指定管理概要

[illegible]

板橋区立郷土芸能伝承館指定管理者業務評価委員会委員名簿

役 職 名 等	氏 名	備 考
<div> <div></div> <div></div> </div>	<div></div>	外部委員
<div> <div></div> <div></div> </div>	<div></div>	外部委員
<div> <div></div> <div></div> </div>	<div></div>	
<div> <div></div> <div></div> </div>	<div></div>	
<div> <div></div> <div></div> </div>	<div></div>	
<div> <div></div> <div></div> </div>	<div></div>	

## 板橋区立郷土芸能伝承館指定管理者業務評価委員会評価要領

### 1 趣 旨

この要領は、「指定管理者制度導入施設のモニタリング・評価に関する基本方針」（平成20年8月22日区長決定、平成31年4月23日改訂）に基づき、郷土芸能伝承館指定管理者業務評価委員会の行う評価等に関して必要な事項を定める。

### 2 評価等の方法

- (1) 事業報告書の内容審査
- (2) 利用者アンケート（満足度）調査結果の内容審査
- (3) 現地調査及びヒアリング
  - ・現地調査  
指定管理者に施設内外を案内してもらい、施設内外の維持管理・清掃状況、設備の  
状態、職員の利用者への対応等について調査する。
  - ・ヒアリング  
指定管理者から、施設の管理運営概要及び自己評価説明を受けて、評価項目に沿  
ってヒアリングを行う。
- (4) 指定管理者の財務状況審査  
指定管理者が安定的に継続して公の施設の管理運営を代行できる状況にあるかど  
うかを確認するため、「板橋区指定管理者に対する財務状況点検に関する協定」を締  
結している団体に委託し、書類審査、ヒアリングを実施する。
- (5) 指定管理者が雇用する施設従業員等の労働条件審査  
指定管理者の下で働く従業員等の労働条件が、区民サービスの向上に向けて安定  
的・継続的に業務に従事でき、公の施設の管理運営業務に責任の担える状況にある  
かどうかを確認するため、「板橋区指定管理者に対する労働条件点検に関する協定」  
を締結している団体に委託し、現地確認・書類審査・従業員面接・ヒアリングを実施  
する。
- (6) (1)～(5)の審査結果を評価委員会で評価し、教育委員会及び区長に報告する。  
但し、上記(4)(5)の財務状況及び労働条件の点検結果については、外部専門家か  
らの報告書に基づき、評価委員会が評価する。

### 3 評価等の基準及び視点と項目

板橋区立郷土芸能伝承館指定管理者評価基準（別紙1）及び郷土芸能伝承館指定管理者評  
価シート（別紙2）による。

### 4 措置及び措置状況の報告

- (1) 評価結果を指定管理者に通知する。改善を要する事項があった場合は、生涯学習課長  
は指定管理者に対し、期限を定めて、改善に向けた指導・勧告・命令などの必要な措置  
を講ずる。

- (2) 生涯学習課長は、評価委員会の評価に基づき、指導・勧告・命令など必要な措置を講じた場合は、措置の内容及び指定管理者の改善状況又は改善計画を速やかに評価委員会に報告する。
- (3) 生涯学習課長は、指定期間内の評価等の結果を蓄積し、年度間比較により、評価が低下した項目がある場合は速やかに原因調査と必要な措置を講ずる。
- (4) 生涯学習課長は、蓄積した評価等の結果及び措置状況等を分析し、次期指定管理業務に反映させる。

## 5 評価結果の公表

- (1) 評価委員会が行った評価結果について、文教児童委員会への報告後、ホームページ等で公表する。
- (2) 公表の範囲は、次のとおりとする。
  - ① 指定管理者の名称、所在地、指定期間
  - ② 施設概要（名称、所在地、開設・設置目的、建物概要）
  - ③ 事業内容
  - ④ 評価方法、評価項目・配点、総合評価基準
  - ⑤ 評価委員会の所見など
  - ⑥ 評価表
  - ⑦ その他必要な事項
- (3) 公表にあたり、評価委員会による評価項目別の評価内容については、評価の公平性・公正性確保の観点から、委員全員の合計点の範囲にとどめ、委員個人が特定できない形で行う。

## 板橋区立郷土芸能伝承館指定管理者評価基準

## 1 評価項目ごとの個別評価

郷土芸能伝承館指定管理者評価シート（別紙2）の項目ごとに達成度を検証し、下記の目安に沿って5段階（1～5点）で採点する。

## (1) サービス水準と評価

- 5点・・・達成率 100%以上
- 4点・・・達成率 90%以上 100%未満
- 3点・・・達成率 70%以上 90%未満
- 2点・・・達成率 50%以上 70%未満
- 1点・・・達成率 50%未満

## (2) 管理運営等の評価

- 5点・・・求水準を上回る成果を出している
- 4点・・・要求水準どおりの成果を出している
- 3点・・・要求水準を概ね満たしているが、工夫の余地がある
- 2点・・・要求水準を満たしていない
- 1点・・・要求水準を著しく下回っている

## 2 総合評価の結果

満点に対する評価項目の合計点（評価委員全員の合計）の割合で評語を付す。

- 9割以上・・・特に優れている
- 8割以上・・・優れている
- 6割以上・・・適正である
- 4割以上・・・やや劣る
- 4割未満・・・劣る

・評価の理由を明確に記載する。

・管理運営に対する指摘事項や今後の管理運営に向けての意見等を記載する。

## 3 各項目の評価結果に対する対応

## (1) 評価委員会評価

委員1人あたりの平均点が3点未満の項目については、評価所見において、改善に向けた努力を要請する。また同じく、平均点が2点未満の項目については、生涯学習課長が必要な措置（指導・勧告・命令）を講ずるものとする。

## (2) 経営基盤に関する評価

評価結果が「↓（財務状況点検結果が5段階評価において2以下）」の場合、財務状況が悪化していることについて、指定管理者からヒアリングを行うなど、財務状況を適宜注視するとともに、生涯学習課長が必要に応じて措置（指導・勧告・命令）を講ずるものとする。

指定管理者評価シート[指定管理者評価委員会用]

施設概要

施設名称	郷土芸能伝承館	所在地	板橋区徳丸六丁目29番13号
所管課名	教育委員会 生涯学習課	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
指定管理者名	株式会社サンワックス	指定管理者の所在地	埼玉県行田市行田22番10号
設置目的	区内の郷土芸能の保存及び伝承に寄与し、もって区民の文化の向上を図る		
基本理念	①郷土芸能保存団体等の活動の場を提供し、地域の文化活動の発展に貢献する ②利用者が「安心」「安全」「快適」に利用できる運営・維持管理を行う ③施設利用者、近隣住民や地域団体とのコミュニケーションを尊重し、協働を図ることで、地域への貢献を目指す		
行動規範	(1)東京都板橋区立郷土芸能伝承館条例、その他関係法令・マニュアル等を遵守し、公平なサービスの提供と利用者の増加を目指し、区民サービスの質の向上を実現する (2)館が公の施設であることを常に念頭に置いて、公平な運営を行うこととし、特定の団体を有利又は不利となる運営をしない		
業務内容	(1)郷土芸能伝承館の管理運営に関すること (2)郷土芸能伝承館の施設及び設備の維持管理にすること		

評価結果

評価項目	事業の目標と具体的な取組	自己評価(指定管理者による自己点検)		評価委員会評価						
		実施結果やサービス水準の増減理由など	評価点	評価理由	評価点					
【施設の経営方針に関する事項】										
1 施設の現状認識・取り巻く環境の理解・管理運営の方向性	施設や伝統芸能への認知不足といった現状を認識し、5つの運営方針と目標とする将来像を設定する 運営方針 ①公共性・公平性の確保 ②安心・安全の徹底 ③きめ細やかな対応 ④民間ならではのノウハウの発揮 ⑤地域との連携 将来像 「知る、楽しむ、未来へつなげる郷土芸能伝承館」		5 /		5 /					
2 経営方針に基づく具体的な行動										
基本理念	具体的な目標	サービス水準	目標値・実績値(経過)							
			R2	R3	R4	R5	R6	評価点	評価理由	評価点

評価項目	事業の目標と具体的な取組	自己評価(指定管理者による自己点後)					評価委員会評価	
		実施結果やサービス水準の増減理由など					評価理由	評価点
		目標	実績	増減	理由	目標		
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	登録利用団体の増加	団体登録数						/ 5
	利用者の増加	施設利用率						/ 5
	自主事業の実施による地域文化活動の発展への貢献	自主事業開催回数						/ 5
	施設認知度の向上	ホームページ・Twitterでの情報発信件数						/ 5
	施設の予防保全と安全管理	自社営繕チームによる設備一斉点検						/ 5
	スタッフ教育による快適なサービス提供	研修及びび郷土芸能勉強会実施回数						/ 5
	施設利用者の満足度の向上	利用者アンケートによる総合満足度						/ 5
	地域・利用団体と連携した防災訓練の実施	防災訓練実施回数						/ 5
	地域行事への参加	地域行事への参加回数						/ 5

【行動規範に関する事項】



評価項目	事業の目標と具体的な取組	自己評価(指定管理者による自己点検)		評価委員会評価	
		実施結果やサービス水準の増減理由など	評価点	評価理由	評価点
法令遵守(法令、区条例、区規則、その他区が定める規程及び協定書に則り、信義に従い誠実に対応しているか)	関係法令を遵守し社会規範に即した公正で透明性の高い事業活動の実施 ・コンプライアンス・マニュアルの整備 ・コンプライアンス研修の実施 ・日常業務から点検・改善を繰り返すPDCAサイクルを構築		/ 5		/ 5
暴力団等の排除(暴力団等の排除について適切に対応しているか)	「東京都板橋区契約における暴力団等排除措置要項」の趣旨を踏まえた管理運営業務の遂行、再委託先選定時における確認の徹底		/ 5		/ 5
平等な利用の確保(特定の団体や個人に偏ることなく、平等な利用実態となっているか)	公共施設の管理者として差別的な扱いを行わず、公正・公平なサービスを提供 ・利用規則の適正な運用による公正な事務手続きの履行 ・接遇マニュアルの整備 ・接遇研修の実施		/ 5		/ 5
ノーマライゼーション(障がい者や高齢者等に配慮した運営となっているか)	ノーマライゼーションを推進し、障がい者や高齢者に配慮した運営に努める ・ウェブアクセシビリティの向上 ・ユニバーサルデザインの導入 ・人権、合理的配慮の理解に関する研修の実施		/ 5		/ 5
【管理体制に関する事項】					
職員の雇用形態(施設運営に責任の担える安定的な雇用形態となっているか)	全職員を直接雇用し、副館長は正規雇用、館長および受付員は非正規雇用(契約社員、パートタイマー)とする		/ 5		/ 5

評価項目	事業の目標と具体的な取組	自己評価(指定管理者による自己点検)		評価委員会評価	
		実施結果やサービス水準の増減理由など	評価点	評価理由	評価点
職員の労働条件 (労働法規等を遵守した適正な勤務体制となっているか、職務能力等に対応した適正な給与体系が整っているか、休暇制度や職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がなされているか)	労働法規を遵守し、勤務時間・休日・休暇・賃金・人事・服務規律等について就業規則に定め、職員が安心して働ける体制を整備する ・労務管理勉強会の実施 ・ストレス状況のチェック(THI検査) ・PDCAサイクルによる安全衛生水準の向上		/ 5		/ 5
職員の配置体制 (適正な職員配置となっているか)	開館日は責任者または代行者のいずれかが勤務し、開館時には受付スタッフが常時1名以上勤務する体制とする ・繁忙期、自主事業時、緊急時には本社より増員		/ 5		/ 5
職員の専門性 (必要な専門性を備えた職員が配置されているか)	館長には博物館学芸員・図書館司書の資格を有する専門性を備えた職員を配置し、副館長にはPPP推進室配属5年以上の職員を配置		/ 5		/ 5
職員の研修体制 (職員の指導育成、研修体制は適切であるか)	年2回以上のPPP推進室エリアマネージャーによる職員研修を実施し、職員の資質向上、高水準なサービスを提供できる人材を育成 館長を中心とした郷土芸能勉強会を実施し職員の専門性向上を図る		/ 5		/ 5
危機管理体制 (事故・災害などに対する綿密な危機管理体制が整っているか、BCPや災害対応マニュアルの内容は適切であるか)	緊急時の体制を整備し、利用者の安全確保と適切な措置に努める ・緊急連絡網の整備 ・危機管理マニュアルの策定 ・事業継続計画(BCP)の策定 ・防災訓練の実施		/ 5		/ 5

評価項目	事業の目標と具体的な取組	自己評価(指定管理者による自己点検)		評価委員会評価	
		実施結果やサービス水準の増減理由など	評価点	評価理由	評価点
安全対策(利用者の安全についてきめ細かい対策がとられているか)	安心安全な環境づくりを第一とした施設運営管理 ・日常巡回点検の実施 ・年間維持管理計画表の策定 ・予防保全チームによる定期保守点検		/ 5		/ 5
情報管理(個人情報保護等に関する指遵の徹底など、対策は万全か)	関係法令を遵守し個人情報管理のための実効性の高い耐性を構築する ・個人情報保護責任者の任命 ・個人情報保護マニュアルの作成 ・個人情報保護研修の実施 ・内部監査の実施		/ 5		/ 5
地域貢献(区内事業者の活用、区民の雇用など、地域への貢献、地域との連携への配慮がなされているか)	地域社会に根ざした運営を進め、施設や地域の活性化に貢献する ・区内事業者の活用(8割以上) ・区民雇用(8割以上) ・地域行事への参加		/ 5		/ 5
【管理活動に関する事項】					
経済性・効率性(費用対効果は適切か、当初の目標どおり管理運営経費が削減されているか)	計画的な管理、職員教育による経済性・効率性の向上を図る ・職員のマルチタスクによる効率化 ・設備・備品・消耗品の計画的な管理 ・管理日誌の活用 ・エコチャージングによる施設の運用		/ 5		/ 5
妥当性(管理運営経費は、その内訳を含め妥当であり、適正に執行されているか)	収支計画表に基づき管理運営経費を適正に運用する ・定例会議での業務改善 ・内部監査の実施		/ 5		/ 5
設備の保守点検(設備機能の維持に向けた保守点検は適切であるか)	板橋区立郷土芸能伝承館指定管理業務要求水準書に定められた保守点検項目及び実施時期を確実に履行する ・定期点検と法定点検の計画的実施 ・維持管理計画の策定		/ 5		/ 5
委託業務の妥当性(委託されている業務の範囲は適切であるか)	清掃、警備、設備の整備保守点検などの再委託業務を適切に管理し履行させる ・施設設備担当者の立ち会い ・報告書の確認		/ 5		/ 5

評価項目	事業の目標と具体的な取組	自己評価(指定管理者による自己点検)		評価委員会評価	
		実施結果やサービス水準の増減理由など	評価点	評価理由	評価点
備品の管理(備品の機能維持に向けた保守点検等は適切になされているか、購入備品の登録手続きに遺漏はないか)	施設備品の適正な管理および保守、修繕の実施 ・備品台帳の作成 ・棚卸しによる在庫確認(年1回) ・備品貸出台帳による管理と保守点検の実施		/ 5		/ 5
環境対策(区の環境施策を理解し、省エネ、省資源など地球環境に配慮した管理運営がなされているか)	板橋区環境マネジメントシステムに基づき環境保全に取り組む ・グリーン購入の推進 ・ゴミの削減 ・公共交通利用促進 ・強アルカリイオン電解水の活用		/ 5		/ 5
施設の利用促進のため、積極的な広報活動に取り組んでいるか	施設の情報を広く周知し、多くの来館へつながる広報活動を実施する ・ホームページの開設 ・パンフレット、チラシの作成と配布 ・自主事業の「広報いたばし」への掲載		/ 5		/ 5
【業務改善に関する事項】					
アンケート結果への対応(利用者アンケートの結果を踏まえた対応は適切か)	アンケートにより利用者の意見、要望を収集し施設運営に反映する ・迅速な対応とPDCAサイクルによる継続的な改善の実施 ・アンケート結果のデータ化と分析 ・対応結果の揭示		/ 5		/ 5
要望への対応(利用者からの苦情や要望等を把握する取組はなされているか、その対応は迅速かつ的確か)	迅速で誠実な対応の徹底と未然防止に努める ・職員の利用者との日常的なコミュニケーションの強化 ・トラブル苦情対応マニュアルの作成および更新 ・トラブル時の連絡体制の明確化		/ 5		/ 5
一次評価合計			0 / 160	二次評価合計	0 / 160
評価点割合 (%)			0.0%	評価点割合 (%)	0.0%

\* サービス水準の採点方法

(5点:達成率100%以上、4点:達成率90%以上100%未満、3点:達成率70%以上90%未満、2点:達成率50%以上70%未満、1点:達成率50%未満)

\* 管理運営等の採点方法

(5点:要求水準を上回る成果を出している、4点:要求水準どおりの成果を出している、3点:要求水準を概ね満たしているが、工夫の余地がある、2点:要求水準を満たしていない、1点:要求水準を著しく下回っている)

評価項目	事業の目標と具体的な取組	自己評価(指定管理者による自己点検)		評価委員会評価	
		実施結果やサービス水準の増減理由など	評価点	評価理由	評価点
自己評価(指定管理者)					
評価委員会評価	経営基盤に関する評価 (中間年)	安定的な管理運営を行える経営基盤を有しているか【財務諸表審査の5段階評価において3以上「○」、2以下「×」】			
	総合評価	【評価できる点】			
		【改善すべき点】 [助言] [指導] [勧告] [命令]			

\* 総合評価の採点方法(評価委員会評価の合計点)...特に優れている(9割以上)、優れている(8割以上)、適正である(6割以上)、やや劣る(4割以上)、劣る(4割未満)

